“経営に知恵と革新”

令和５年９月１日発行（隔月発行）Vol.772 号

マネジメント コンサルタント

Management Consultant

2023年９月・１０月号

広島城（広島県）

（写真提供：公益財団法人広島観光コンベンションビューロー）

認定経営革新等支援機関

一般社団法人日本経営士会

第55回経営士全国研究会議 広島大会

包括テーマ

理論と実践の融合

― 強い日本を創る ―

日程：2023年 10/14(土)・15(日)

会場：広島国際会議場(広島市)

1日目：10/14(土)

12:00～　開会式

12:20～13:20　特別講演Ⅰ：『経営とは勝つことではなく負けないこと！』
法政大学 大学院 政策創造研究科　井上善海教授

13:30～15:40　ビジネス・イノベーション・アワード企業表彰

15:50～17:25　経営士会活動報告、表彰論文発表

18:00～　懇親会（於：ANAクラウンプラザホテル広島）

2日目：10/15(日)

9:00～10:10　サスティナブル・マネジメント・センター構想（経営士への提言）

10:20～12:00　特別講演Ⅱ（ディスカッション）：『DXから考えるビジネスの未来と経営士の在り方』
衆議院議員・前デジタル庁副大臣　小林史明様

『DXの前にCX、そのためにはRun＆Learn!』
株式会社経営共創基盤 共同経営者　沼田俊介様

13:00～13:30　特別講演Ⅲ：『診療を止めるな』
広島大学病院副病院長 感染症科　大毛宏喜教授

13:30～14:30　特別講演Ⅳ：『生きる』
株式会社大創産業 創業者　矢野博丈様

14:30～15:30　座談会

15:30～　閉　会

※詳細につきましては本誌をご覧ください。

INDEX

理事会通信 ・・・・・・・・・2
令和５･６年度委員会・事業部委員一覧表 ・・・・・・・・・4
サスティナブル・マネジメント・センター組織図 ・・・・・・・・・5
事業部・委員会活動
　倫理委員会からの報告（4） ・・・・・・・・・6
　資格審査委員会からの報告 ・・・・・・・・・7
　経営支援アドバイザー養成講座　2023 ・・・・・・・・・8
　「中小企業119」専門家登録手続きを開始 ・・・・・・・・・9
　『SDGs/CE 経営実践』シンポジウム ・・・・・・・・・10
　SMC　SX・GXグループの報告 ・・・・・・・・・11
　AMCJクロッシングからの報告 ・・・・・・・・・15
第55回経営士全国研究会議のご案内 ・・・・・・・・・17
支部活動報告
　北関東支部　新潟県会・第38回公開MPP ・・・・・・・・・21
　北関東支部　茨城県会・2023年度第1回　公開MPP　開催結果 ・・・・・・・・・22
　千葉支部・活動報告 ・・・・・・・・・24
　埼玉支部・活動報告 ・・・・・・・・・25
　中部支部・最近の活動報告 ・・・・・・・・・26
産業能率大学　寄付講座実施報告 ・・・・・・・・・28
インフォメーション ・・・・・・・・・29

マネジメントコンサルタント（Management Consultant）
発行所：一般社団法人日本経営士会

〒102-0084　東京都千代田区二番町12-12 B.D.A. 二番町ビル5F
Tel：03-3239-0691　Fax：03-3239-1831
https://nihonkeieishikai.com

表紙：広島城（広島県）
（写真提供：公益財団法人広島観光コンベンションビューロー）

理事会通信

＜令和５年度第３回定例理事会（抜粋）＞

記

１．日　時：令和5年6月30日（金）　12：30～13：30

２．会　場：スクワール麹町（ZOOM併用）

①入会承認について

児玉理事より経営士入会希望者6名（推薦）が入会条件を満たしている説明があったが、うち1名の経歴に問題がある旨の発言が他の役員から出た為、改めて役員等によって当人との面接審査をやり直すこととなった。また、資格審査委員会で不合格となった1名に対し、産業能率大学大学院を修了していることで経営士の資格要件を満たしているのではないかとの質問があったが、産業能率大学との協定書では試験免除のみしか規定されてなく、当該者には5年以上の経営実績がないので今回は不合格にした旨の回答があった。これに対して今後産業能率大学と打ち合わせを持ち、協定書を変えていく方向で検討することとなった。

三品理事より環境経営士（養成講座2名、推薦1名）3名の入会承認の説明があり、審議の結果全会一致を以って承認された。

②事業部、委員会／ SMC変更について

近藤専務理事が資料に沿って、環境経営士の推薦入会時の面接はCSR事業部が行なうため、入会金における支部支援金は支部に7,500円、面接者（CSR環境事業部員）に7,500円（2名の面接なので1名3,750円）にする旨の提案があり審議の結果、全会一致を以って承認された。

③法人会員（賛助）募集開始について

近藤専務理事よりこの後の理事支部長会の報告のため、改めて役員に情報を共有した。

④新会員システム進捗状況

新会員システムプロジェクトメンバーの東京支部土橋会員が資料に沿って本部会員システムの進捗状況を報告した。

以　上

＜令和５年度第４回定例理事会(抜粋)＞

記

１．日　時：令和5年7月21日(金)　13:30～16:15

２．会　場：本部会議室(ZOOM併用)

①法人会員入会承認について

近藤専務理事から2社の法人会員申込の報告があった。審議の結果、全会一致を以って入会が承認された。尚、入会申込書に従業員数、売上金等を追加することとなった。また今後の入会報告は報告事項で扱うこととなった。

②入会に関する配賦金について

近藤専務理事が既存会員の環境経営士推薦入会に関して、受験料のみで合否認める説明があり、審議の結果、全会一致を以って承認された。

③よろず支援拠点伴走支援事業について

高橋理事より福島県のよろず支援機関が法人支援機関を募集しており、本会東北支部と経営支援事業部の合同チームで応募したい旨の発言があり審議の結果、全会一致を以って承認された。

④「LINE公式」導入の提案

三品理事が資料に沿って、「経営士会のLINE公式アカウント」を導入することで、外部ユーザーからの登録等も増え本会の広報に有効との説明があり、月額5,000円のコースで始めることが、全会一致を以って承認された。

⑤広報委員会からの提案

豊政理事よりリスティング広告の検査結果の報告があり、これを基に今後も本会の広報活動を積極的に行っていきたい旨の説明をした。審議の結果、全会一致を以って承認された。

⑥産業能率大学大学院修了者の推薦入会要件について

近藤専務理事より産業能率大学も担当等が変わっており、本会の推薦入会の内容も変更しているので、改めて外部連携事業部を中心に協定書の見直しをする旨の報告があった。

以　上

委員会・事業部委員一覧表

	委員・事業部名	担当理事	委員長	委　　員
	資格審査委員会 （経営士）	児玉充晴	島影教子	小林伸矢（副委員長）、日比慶一、宮高信之、若村正志、串田敏美、外岡圭子
	資格審査委員会 （環境経営士）	三品富義	福井　浩	二宮治己（副委員長）、林　久雄、宮高信之
	倫理委員会	豊政　茂	矢島隆志	有馬弘純、小林伸矢、西村　豊、藤井利侑
	広報委員会	豊政　茂	川西健雄	小松　功、表　伸也、粉川雅人、土橋留美子、定野　淳、小林伸矢、若村正志、西尾英幸、松橋裕子、戸田裕之、高橋直也、鈴木栄治、中里皓一、石田剛、楠本隆志
	経営支援事業部	高橋直也	横田英滋	小池基美男、大工原一樹、吉村祐紀、善木　誠、佐藤茂樹、宇田川正徳、板平憲洋、安斎眞行
MPP事業部	MPP委員会	三品富義	桒山一宏	日野隆生、福田幸雄、佐藤広文、内海信一（顧問 塚本裕宥）
共益事業	NJK女性経営士の会	近藤安弘	会長 吉村千鶴子	山下由紀子（副会長）、土橋留美子、松永桂子、児玉充晴、山本カオル、東ヶ崎鈴子、外岡圭子、水田裕子
	産能大寄付講座	大蔵充夫	佐藤富夫	
	AMCJクロッシング	竹俣大介	戸田裕之	江藤昭人、樋口弘之、堺　剛、石原群司、西尾英幸、中里皓一、齊藤　潤、小林伸矢、土橋留美子、松下暢子、松田敏弘
	CSR環境事業	三品富義	福井　浩	二宮治己（副委員長）、林　久雄、宮高信之
	外部連携事業部	岩井美喜夫	大宮政男	佐藤富夫（副委員長）、石井眞也、稲葉直彦、江藤昭人、渡部正司
	SDGs事業部	大蔵充夫	本田哲行	福井　浩（副委員長）
	選挙管理委員会		多賀吉令	臼井邦夫、古畑達雄、江藤昭人、山本カオル

	会員管理 システムプロジェクト	近藤安弘	川西健雄	土橋留美子、戸田裕之
	インボイス対応 プロジェクト	近藤安弘	横田英滋	竹内一登、石田太郎、小林伸矢、今枝健治
	個人情報対応 プロジェクト	近藤安弘	矢島隆志	豊政茂、児玉充晴、多賀吉令、石田太郎

（2023年8月18日現在）

サスティナブル・マネジメント・センター組織

（2023年8月18日現在）

センター長：鈴木（和）
副センター長：岩井

事務局長　：近藤
事務局員　：戸田

①SX/GX

リーダー：本田、（副）戸田*

メンバー：福井*、今枝、倉島、神徳、佐々木（健）、角田、山下（博）、伊藤、齋藤（潤）

②DX

リーダー：日比

メンバー：定野、久保、小林（伸）、春原、仲田、福富

③ESG投資・企業分析・評価

リーダー：児玉、（副）春原*

メンバー：金廣、岡田、串田、庄司

⑤SDGs経営士養成講座 CSR環境経営士養成講座

リーダー：福井、（副）二宮

メンバー：志村、釜堀、幡谷、伊藤（綱）、鈴木（栄）、桔梗、西尾（英）、佐藤（秀）

⑥経営士・経営士補等講座

リーダー：大蔵、（副）石原*

メンバー：佐藤（昌）、宮尾、戸田*

⑦SMCプロジェクト

リーダー　：近藤*

サブリーダー：戸田*

メンバー：江上、吉村、横田、小泉、佐藤（昌）、竹俣、松井、山本（英）、村松*、三木谷、二宮

PJT-C：リーダー：江上*、岩井*、近藤*、福井*、本田*、戸田*、三品、張替、霜、石原*、金廣*、井上（清）

Copyright © AMCJ All Rights Reserved.

倫理委員会からの報告（4）

倫理委員会委員　小林 伸矢

インナーコミュニケーションの円滑化

インナーコミュニケーションとは、会員同士が情報や意見を共有し、相互理解を深めるためのコミュニケーションです。

インナーコミュニケーションを活性化させることで、会員のモチベーション向上、生産性の向上、退会率の低下、コンサルタント団体としての競争力強化など、多くのメリットを得られます。経営士会の成長と発展に欠かせないものです。

日本経営士会は、経営コンサルタント団体であり、企業や団体に経営支援を提供し、地域社会への貢献を目指しています。コンサルティングの内容は多岐にわたり、起業支援、経営戦略、経営革新、金融円滑化、会計・財務、販路開拓、国際取引、労務管理、生産管理、コストダウン、IT最適化、社内教育、環境経営などが含まれます。

平成25年4月1日に公益法人制度改革により一般社団法人となり、柔軟性を持った組織として活動することができるようになりました。これにより、会員の共益活動を軸に公益事業と収益事業のバランスを保ちながら、活動を続けています。また、独立したプロのコンサルタントだけでなく、弁護士、公認会計士、税理士、社会保険労務士、技術士、中小企業診断士、司法書士、行政書士、弁理士、一級建築士などの有資格者や、企業や団体の経営者や管理者など、ビジネスに関わる多くの人々が経営士として登録されています。

このような特性、つまり多岐多様、多士済済の広がりを持った経営士会では、得てして各人各様になり、単なる「つわもの」の集まりになってしまいます。三人寄れば文殊の知恵のチーム力を生み出すため、インナーコミュニケーションは特に重要です。

経営士会は、会員同士の協力と連携によって活動し、成り立っていますから、会員同士が情報や意見を共有し、相互理解を深めることで、より良い活動ができるようになります。

インナーコミュニケーションを活性化させるためには、以下のポイントに注意する必要があります。

●情報の透明性　●双方向のコミュニケーション　●会員の参加意識

「情報の透明性」とは、経営士会が会員に対して、活動に関する情報を正しく伝えることです。「双方向のコミュニケーション」とは、経営士会が会員から意見や提案を受け付け、それらを活動に反映させることです。「会員の参加意識」とは、会員が経営士会の活動に積極的に参加することです。

これらのポイントに注意することで、経営士会はインナーコミュニケーションを活性化させ、より良い活動ができるようになります。

経営士会内には、AMCJクロッシング、Slackの「会員ひろば」、各種研究会、支部会など色々なインナーコミュニケーションの場があります。こういう場を生かし、また、この秋には倫理委員会として発行予定の「経営士の倫理行動基準」などを生かし、皆さんが縁あって参加されている日本経営士会の更なる発展を目指してまいりましょう。

事業部・委員会活動

資格審査委員会からの報告

資格審査委員会

＜資格審査実施要領と入会手引書の作成＞

現在、資格審査委員会では本年度の計画どおり、入会者増強とスムーズな入会手続きのための「資格審査実施要領」と入会希望者に配布する「入会手引書」を作成中です。

また、推薦者の負担軽減のため、推薦文作成にAIを活用した文例集の作成に取り組んでいます。年度内には、ご報告できるよう各委員が知恵を絞っています。以下が構成です。

資格審査実施要領の構成

【資格審査実施要領】（本冊）

(1)　資格審査実施要領作成の趣旨
(2)　入会の種別と審査基準概要

(3)　種別１：講座受講入会
　①　講座受講入会の手続き
　②　講座受講者の入会審査に必要な資料

(4)　種別２：推薦入会
　①　入会手順のプロセスの全体
　②　事前判断プロセス
　③　推薦文例
　　入会申込書と推薦書の統合

(5)　昇格の実施方法
　①　昇格実施手順と留意点
　　推薦昇格と研修受講昇格
　②　研修昇格の文例
　③　推薦昇格の文例

【文例集】　別冊１
リーダー：日比、　メンバー：若村
入会申込書のエクセルの追加シートになる。
入会希望者へ入会申込書に入れて配布
パワポの別資料にするかどうかは別途判断

(1)　大卒でない場合の社会での学習実績（若村）
(2)　経営管理実績（定義と文例）（日比）
(3)　例１と例５の経営管理実績　（日比）
(4)　例２～例４の経営指導実績　（若村）

【入会手引き】　別冊２
リーダー：島影、メンバー：外岡
入会希望者へ入会申込書とともに配布

(1)　入会の種別と審査基準概要
(2)　入会までの手順と留意点
(3)　提出書類
(4)　入会申込書記入の留意点、文例参照

1

＝＝

＜入会希望者の個人情報保護について＞

当委員会では、従来から本部の個人情報保護規程に準拠した、入会希望者の個人情報の保護を徹底しており、社員総会にて、一部疑念が提起された内容は存在しません。

この個人情報保護の取り組み内容は、念のために、7月の理事会にて報告しています。

＝＝

＜当面の資格審査委員会開催日のお知らせ＞

9/7(木) 20:00～22:00　　10/13(金) 20:00～22:00　　11/10(金) 20:00～22:00

＊9月の委員会日程が、先に案内日の前日9/7日に変更となっております。

＝＝

以下、エリア担当の資格審査委員がおりますので、事前準備方法などをご相談ください。

小林　伸矢(東京・北海道)　　日比　慶一(千葉・北関東)　　宮高　信之(南関東)
若村　正志(中部・九州)　　串田　敏美(近畿・中国)　　外岡　圭子(四国)

お問い合わせ先：　bzu03624@nifty.ne.jp　　島影　教子　委員長　(埼玉・東北・台湾)
お問い合わせ時に、本部の田中さん(tanaka@nihonkeieishikai.com)にもCCを入れてください。

事業部・委員会活動

「経営支援アドバイザー養成講座　2023」

経営支援事業部

恒例の掲題講座を、下記要領で開催します。多くの方のご参加をお待ちしています。

特に、最近の新規入会者及び　リカレント履修者(含　資格更新されたい方)をお待ちしています。

当会は、国から中小企業支援のエキスパートとして認定・登録されている「認定経営革新等支援機関」です。

同支援機関は複数の補助金・税制・ローンについて、独占的に、その取扱が認められています。

経営士は、その認定経営革新等支援機関業務を取扱うことが出来ます(要事前申請)が、その前提条件として本「経営支援アドバイザー」資格を取得する必要があります。

本講座履修(＋確認テスト、アンケート回答等)により当該資格取得が可能です。

現在は約160名の方が本資格を取得されています。

開催要領　　R5年11月実施

予定日：11日(土) /12日(日) /18日(土)
　9:00～17:00　1時間昼食休憩　Zoom開催
受講料　33,000円(ﾘｶﾚﾝﾄ　5,500円)　税込
最少催行人員：新規者応募　5名以上
・出席困難な場合、動画視聴対応　(事前申告)
　(ワークショップはレポート提出で対応)

【今回の特色】

・財務分析を各日実施
　「基礎、応用、事例研究」　を段階的習得
・ワークショップ(グループ討議)
　企業再生事例他

主な講義内容

1日目　：11月11日(土)
「認定支援機関」資格の活用 特に、税制とローンにおける独占業務 経営革新、BCP制度
2日目　：11月12日(日)
事業再構築補助金＆ 前向き補助金(もの補助他 生産性革命推進事業) 405事業＆ 事業改善施策　(ポスコロ他)
3日目　：11月18日(土)
倒産事例研究 企業再生事例研究

註：経営士補、環境経営士、准経営士補の方も受講可能です。
(詳細は別途ご相談)
本講座履修はアドバイザー資格の更新要件に該当します。

連絡先：事務局　竹下　takeshita@nihonkeieishikai.com

事業部・委員会活動

令和5年度の中小企業119専門家登録手続がはじまりました

経営支援事業部

日頃、経営支援事業部の業務について、ご協力・ご支援いただき、ありがとうございます。
先日、掲題についてご連絡・ご報告させていただきました。
今回は、具体的な登録の為の手続き開始についてお知らせするものです。

【　要旨　】

掲題につき、9月21日（水）より、受付を開始します。

経営士会のHPの会員頁内に設けられている「中小企業119」に関する手続きが掲示されていますので、参照ください。
URL：https://nihonkeieishikai.com/smes119_information/
手続詳細については、本HPに掲示されている「中小企業119　専門家登録手続」及び「システムガイド」をご覧ください。
これらをご理解の上、登録を希望される場合は、下記4つの資格要件の内、自身が申請に活用する項目を選定ください。（それぞれ必要な資料・手続きが異なります）

専門家の要件：
1.中小企業診断士、税理士、公認会計士、弁護士、技術士、その他公的資格を有する者
2.会社等の管理者又は技術者等として10年以上の実務経験を有する者
3.経営診断、販路開拓、商品開発等の中小企業等支援に3年以上の経験を有する者、又は当該分野において相応の実績を有すると認められる者
4.技術等に関する指導・教育機関に所属し、指導、教育、研究に5年以上の経験を有する者

ルール上、当会は会員の派遣は行いませんが、一旦、専門家に登録されれば全国2000の支援機関から派遣される道が開かれます。

【　留意事項　】

「中小企業119」は、事業者と専門家の接点を排する趣旨でシステムが構築されています。
また、登録から具体的支援、謝金の請求まで殆ど全ての手続きをスマホ/LINEで行う必要がありますので、これらの操作要領に通暁していることが求められています。

謝金（報酬）について、専門家からの派遣要請に基づき支援機関が当該専門家を派遣した場合（註：所謂「持込案件」「仕込み案件」）は対象外になりますので、ご留意ください。
（余談ですが、中小企業119の公式サイトのトップ頁の末尾に専用の「目安箱」が設置されております。）

【　窓口等　】

登録手続の受付・相談は下記までメールでお願いいたします。
本部事務局：竹下　メルアド　takeshita@nihonkeieishikai.com

【参考：本制度の公式HP】

中小企業119（chusho119.go.jp）

以　上

～『SDGs/CE経営実践』シンポジウム ～
青山学院大学　SDGs/CEパートナーシップ研究所主催

SMC　SDGs経営士養成グループ　福井　浩

『SDGs/CE経営実践』シンポジウムが7月12日（水）13:00 ～ 17:15の間、青山学院大学　青山キャンパス　総研ビル（14号館）（ハイブリッド型）にて開催されました。主催は青山学院大学SDGs/CEパートナーシップ研究所（SDGs研究所）です。

この研究所の所長は玉木　欽也教授ですがこの研究所と当会はSDGs経営を普及するための覚書を取り交わしています。（注：CE経営とはコアビジネスの変革…無駄を取り除き、全体の価値を損なわない形で既存のバリューチェーンの変革等を行う経営）

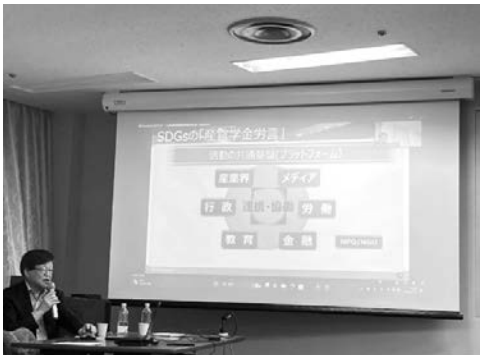
当会から鈴木和男会長　近藤安弘専務理事　戸田裕之経営士　福井　浩がリアルで出席し、Zoomでも当会から数名は出席しました。リアルとZoomを兼ねたハイブリット型でしたが出席者は約40名でした。質疑応答では鈴木会長、福井などが質問、意見などが出され活発なシンポジウムとなりました。

（出典：青山学院大学正門　同校ホームページ）

以下はシンポジウムの内容ですがSDGsについて日本でも有名な方が講師でした。
参加費は無料でした。

■第Ⅰ部　13:05 ～ 15:05（35分発表／5分質疑応答）
・リサイクル産業からSDGs社会課題解決企業（仮）
　株式会社斎藤英次商店　代表取締役 斎藤大介
・ジャパンSDGsアワード受賞
　株式会社大川印刷　代表取締役社長 大川哲郎
・税理士支援の実践経営
　一般社団法人SDGs・ESG経営コンソーシアム（BOAF）　代表理事／税理士 岡　春庭

■第Ⅱ部　15:15 ～ 17:15（35分発表／5分質疑応答）
・株式会社熊谷組
　建築事業本部 中大木造建築推進室 栂野　晃
・株式会社セブン＆アイ・ホールディングス
　執行役員 ESG推進本部 サステナビリティ推進部
　シニアオフィサー 釣流 まゆみ
・未来まちづくりフォーラム
　千葉商科大学 教授 笹谷秀光


（写真は笹谷秀光教授）

サスティナブルマネジメントセンター（SMC）SX･GXグループ（SDGs事業部）の報告

【SMC-SX･GXグループ: 本田　哲行】

1. YCU | 横浜市立大学 相互連携と協働による2023年度（R5）前期活動報告

2023年度（R5）横浜市立大学・前期集中講義「環境ISO論」について、6/17（土）、6/24（土）、7/1（土）／ 1限～5限（8:50～17:40）を横浜市立大学・みなとみらいサテライトキャンパス（横浜ランドマークタワー 7F）で開講しましたので、以下の通り報告いたします。

◇前 期 講 義：▶「環境ISO論」集中講義（15限／ 2単位）
◇前期開講日：▶ 6/17（土）、6/24（土）、7/1（土）／ 1限～5限（8:50～17:40）
◇場　所：横浜市立大学・みなとみらいサテライトキャンパス（横浜ランドマークタワー 7F）
◇受講生：修士課程の学生

▶第1日目
6/17（土）
1～5限
（8:50-17:40）

授業計画・実績
（週単位）

『"環境・社会・経済" を切り口に世の中の動向を理解する』
▷ [影山 摩子弥／鈴木 和男／大蔵 充夫]

・オリエンテーション「"環境・社会・経済" を切り口に世の中の動向を理解する」
・ISO14001:2015スキームの意義（ビジネスインフラとしての価値）
・ISO14001を含む、各種環境マネジメントシステム（EMS）の重要性とその概要
・環境経営（CSR,CSV,ESG,SDGs）に関するトピックスと社会的背景

▶第2日目 **6/24(土)** 1～5限 (8:50-17:40) **授業計画・実績** (週単位)	**『環境ISO論』各規格要求事項の解説とビジネスでの活用動向と事例研究** ▷ [影山 摩子弥／大蔵 充夫] ・規格解説4　組織の状況(環境マネジメントシステムとは) ・規格解説5　リーダーシップ(トップマネジメントの重要性) ・規格解説6　計画(ビジネスプランを考える) ・規格解説7　支援(ビジネスに必要な要素) ・規格解説8　運用(目標達成に導く環境マネジメント) ・規格解説9　パフォーマンス評価(ビジネスと成果を可視化) ・規格解説10　改善(継続的に改善するための思考方向)

▶第3日目 **7/1(土)** 1～5限 (8:50-17:40) **授業計画・実績** (週単位)	**『環境経営のトレンドと事例紹介・ワークショップ』** ▷ [影山 摩子弥／大蔵 充夫／福井 浩／本田 哲行] ・重大な環境事故に見るCSRとの関係 ・環境マネジメントシステムが生み出す企業価値とCSR/CSV ・環境ベンチャー企業の出現などに見える環境ビジネスの拡がり ★前期環境ISO論　試験 ・ESG-CSRに関する情報開示のトレンド・事例の紹介 ワークショップ(グループ別討議、各グループ発表) ★試験解答・解説(30分程度) ・まとめ → 影山先生より総論および「修了証」授与

◆シラバス（概要）

講義名 Course name	環境ISO論		
担当教員 Instructor	影山 摩子弥（YCU） 大蔵 充夫（amcj）	ゲスト講師（amcj） Guest lecturer	鈴木 和男、福井　浩、本田 哲行
単位数 No of credits	2		
期間・曜日・時限 Term/day/period	前期集中：6/17（土）、6/24（土）、7/1（土）　1～5限（8:50-17:40） YCU みなとみらいサテライトキャンパス		
コース専攻名 Faculty	国際総合科学部　国際都市学系		
学習到達目標 Course objective	・就活、就職後に役立つISOと環境経営の知識を習得する ①ISO14001:2015（JIS14001:2015）の規格要求事項を理解する ②環境マネジメントシステムに基づくビジネスマインドを涵養(かんよう)する ③企業価値向上と社会課題の解決に貢献できるビジネスパーソンと成長する基盤を構築する ④企業経営におけるCSR（企業の社会的責任）,CSVの重要性を理解する ⑤CSRコンサルタントとして活動する実務家が実社会で応用できる内容を目指します ⑥環境経営士の講座修了証の取得可能です		
講義概要 Course description	①ISO14001:2015（JIS14001:2015）に基づいた環境ISOの内部監査員の概要を理解する講座です ②内部監査員の概要を理解する研修なのでISO規格要求事項に基づいて実践的な講義を進めます ③それに加えて、環境マネジメントを理解し、企業価値向上と社会課題の解決に貢献できるビジネスパーソンと成長する基盤を構築することも目的とする ④環境経営を進める上での各種アプローチ、事例紹介をする ⑤ビジネス／ソーシャルマインドを涵養するためにも効果的であり、就活や就職後も役立つ講義を行います		

２．株式会社大伸社コミュニケーションデザイン殿とSDGs推進に係る連携・協力に関する覚え書の締結

今回、株式会社大伸社コミニュケーションデザイン殿と本会は、環境・CSR・SDGs経営全般を企業、団体、自治体に普及するための連携と協力に関する本覚え書を6月20日付けで締結しました。

AMCJ は、持続可能な開発目標を支援します。

（目的）
第１条　本覚書は、甲および乙が、環境・CSR・SDGs経営を企業、団体、自治体等に普及するための緊密な相互連携（強み弱みを補い合い）と協働による活動を推進することであり、地域のニーズに迅速かつ適切に対応し、サービス向上および活性化を図ることを目的とする。

（連携事項）
第２条　甲および乙は、前条の目的を達成するため、次に掲げる事項について連携し、協力する。
１）株式会社大伸社コミニュケーションデザイン（サステナブル・ブランディング等）に関すること
２）環境、CSR、SDGsマネジメントシステムならびにSDGs経営士等の普及に関すること
３）その他、啓発および活動促進に向けた取り組みに関すること　など

今後、双方がwin-winになる円滑な連携となるよう期待するところです。また、皆さま方のご支援・ご協力のほどをよろしくお願いいたします。

以上

事業部・委員会活動

AMCJクロッシングからの報告

AMCJクロッシング

虫のコーラスが聞かれる9月に入りました。まだまだ残暑が厳しい折ですが、みなさまいかがお過ごしでしょうか。

7月15日（土）、「リアル★クロッシングin名古屋」を開催致しました。

今まで、コロナ禍でWEB開催のみでしたが、大阪、東京開催に続き、名古屋でもリアル（対面）開催ができました。計26名の方に、ご参加をいただいたことをあらためて感謝申し上げます。

これからも、全国会員の皆さまが気軽に「ワイガヤ」ができて、お互いを知っていただける「フラットな場」になるように、運営を行ってまいります。

AMCJクロッシング委員長　戸田 裕之

【報告】「リアルクロッシング in 名古屋」を開催しました

7月15日（土）、13：00 ～ 17：00、名古屋開催、JR名古屋駅近く

4名（東京）、2名（南関東）、13名（中部）、4名（近畿）、1名（中国）、1名（四国）、1名（九州）計26名が集まっての開催でした。

「数年ぶりの再会！」、「Webしか会っていない方との初対面！」、開始まえから盛り上がっていました。

26名全員での自己紹介、また8名の方の最近の活動発表などを行いました。コミュニケーションを深めつつ、無事滞りなく17時に終了致しました。

その後の懇親会も24名の参加者で大いに盛り上がりました。

（活動発表者、8名）

①	「中部支部の活動状況」	大橋康子会員（中部）
②	「酒と山と文と」	江口敬一会員（中部）
③	「脱！どんぶり勘定　中小建設会社の経営力強化」	服部正雄会員（中部）
④	「経営の基本学習ゲーム　みんなの経営物語」	山本英夫会員（南関東）
⑤	「伝統芸能の世界から企業課題を考える」	松下暢子会員（近畿）
⑥	「KAIZEN　プロジェクト“Biwako”」	田畑守行会員（中部）
⑦	「経営革新等認定支援機関業務、経営改善計画策定支援」	安齋眞行会員（中部）
⑧	「時を超える・創る、社会を変えるビジネスとは」	鈴木和男会員（東京）

（充実した1日を過ごしました）

〈アンケート・ご意見〉　回答者：11名

大変良かった 9名　　良かった 2名

・皆様の取り組みを拝聴でき、興味深く聞かせて頂きました。

・コミュニケーションを図ることから、いろいろな可能性が生まれるものと思います。

・皆様の前向きで時流に沿った活動はいつも良い刺激や切っ掛けをいただいています。

・リアルで話せる新鮮さ、開催することの有効性を改めて感じさせられました。

・全国各地の方とご縁いただき感謝しています。沢山のご意見や考え方を知れ、勉強になりましたし、気付きを得る事ができました。

・発表者の活動が分かって良かったが、逆に時間を短くしてワークディスカッションの時間を多くしても良いと思います。

◆今後のスケジュール

AMCJクロッシングは、【偶数月 第2日曜日 10時～】を予定しております

2023年10月08日（日）、10：00 ～ 12：00、テーマ未定、ZOOM

2023年12月09日（土）、13：00 ～ 17：00、リアルクロッシングin東京、四谷三丁目

お申し込み先：keieishikai.crossing@gmail.com

メール件名：AMCJクロッシング　申し込み

メール宛先：AMCJクロッシング　戸田宛て

メール本文：①お名前、②会員番号、③支部名、④電話番号

70th+ since1951 Great Change 一般社団法人日本経営士会

第55回
経営士全国研究会議 広島大会
併催 歯科医院変革フォーラム

包括テーマ

理論と実践の融合
— 強い日本を創る —

2023年10/14(土)・15(日)
会場/広島国際会議場

後援/中国経済産業局・広島県・広島市
広島商工会議所・広島県商工会連合会
広島県中小企業団体中央会・広島経済同友会
産業能率大学通教校友会・公益社団法人全日本能率連盟
独立行政法人中小企業基盤整備機構 中国本部

「生きる」
株式会社 大創産業(DAISO)
創業者(ファウンダー)
矢野博丈

ダイソーを世界26の国と地域に約6,500店舗展開する大創産業の創業者。
大学卒業後ハマチの養殖業で事業に失敗。その後9回の転職を経て、1972年に矢野商店を創業。
1977年に株式会社大創産業を設立し、4,500億円の企業を築き上げた。
2018年にはEYアントレプレナー・オブ・ザ・イヤー日本代表に選ばれモナコの世界大会に出場。
現在は中央大学特別招聘教授を含め3つの大学教授を務めている。
2023年2月末現在、日本国内に4,139店舗、海外に2,291店舗、売上高5,893億円。

「経営は勝つことではなく、負けないこと!」
法政大学
大学院政策創造研究科
教授・博士(商学)
井上善海

日本の経営学者
法政大学大学院政策創造研究科 教授
法政大学大学院中小企業研究所 所長
広島大学名誉教授
専門分野は経営戦略論、事業創造論、中小企業経営論
主な著書に『負けない戦略』(中央経済社)、『衰退産業の勝算』(幻冬舎)などがある。

「診療を止めるな」
広島大学病院副病院長
感染症科 教授
大毛宏喜

日本感染症学会指導医
日本外科学会指導医
COVID-19対応では東京都、広島県などで専門員として対策に携わった。

「DXから考える ビジネスの未来と 経営士の在り方」
衆議院議員
自由民主党 副幹事長
前デジタル副大臣
小林史明

「テクノロジーの社会実装で、多様でフェアな社会を実現する」を政治信条に、規制改革に注力。デジタル規制改革、情報通信改革、公務員制度改革など、社会の発展を阻む古い規制の見直しに取り組む。デジタル副大臣兼内閣府副大臣として、規制改革、行政改革、サイバーセキュリティなどを担当しながらデジタル臨調事務局長も務め、自民党第50代青年局長としても全国組織のデジタル化をリードした。

「DXの前にCX、そのためには Run&Learn!」
株式会社 経営共創基盤
共同経営者
株式会社日本共創
プラットフォーム 執行役員
沼田俊介

ソフトウェアエンジニアリングを経験後、経営コンサルティングに従事。大手半導体、ガラスメーカー、化学メーカー等グローバル製造業の事業戦略やIT戦略の立案から業務標準化、プロセス改善等の実行までのハンズオン支援を実施。
現在は自動車部品や機械、素材等の各種製造業の再建、新規事業創出、戦略立案や海外展開の実行支援を統括。ケースウェスタンリザーブ大学経営学修士(MBA)

10/14(土)

12:00 12:30 13:00 13:30 14:00 14:30 15:00 15:30 16:00 16:30 17:00 17:30				
第1部				第2部
開会式	特別講演 Ⅰ 法政大学大学院政策創造研究科 井上善海 教授	ビジネス・イノベーション・アワード企業表彰		日本経営士会　研究・活動報告
		変革フォーラム 決起大会	医療現場の課題と解決 ※別途資料のため事前申込み必要 グループディスカッション	報告会・これからの歯科医療への提案
パネル発表・展示 / 紹介ブース / フォトコンテスト				

18:00　懇親会　ANA クラウンプラザホテル広島

ごあいさつ

日本経営士会も創立から72年が経過します。そしてここ数年はコロナパンデミック、ロシアのウクライナ侵略、米中経済問題など沢山の課題があります。こんな時こそ、私ども経営士会の力を発揮する絶好のチャンスです。皆様全員で心を一つにし「四方よし(三方よし+未来よし)」を合言葉に「持続可能な社会・経済の構築」を実現してまいりましょう。

第55回 経営士全国研究会議 主催者代表 鈴 木 和 男

10/14 経営士 全国研究会議「強い日本を創る」研究・活動報告

ランⅠ会場 15:50～

15:55 ～ 16:10
経営・事業と法務を架橋するリーガルリスクマネジメントの実践
(～Iso31022:2020を基にしたリスクマネジメントシートの提案～)

東京支部
企業内弁護士
豊田　泰行

16:10 ～ 16:25
わかりやすい！サステナブル経営の進め方

中国支部
株式会社 JTB
松田 敏弘

16:25 ～ 16:40
生涯教育での経営士会の位置づけ

近畿支部
松下 暢子

16:40 ～ 16:55
実践の鍵を握る思考
動機づけの判断と方向性、主体的行動
思考停止、思考不全からは何も生まれない

東京支部
株式会社
Gis connect
代表取締役
石原 群司

16:55 ～ 17:10
中小企業の伴走支援力を磨く経営支援事業部の活動について
～認定経営革新等支援機関の独占業務を中心に～

南関東支部
経営支援事業部
委員長
横田 英滋

ランⅡ会場 15:50～

15:55 ～ 16:10
企業連携 × 秘密結社で全国展開！「経営支援の総合商社」

中国支部
ラ・プラス
株式会社
代表取締役社長
井上　隆

16:10 ～ 16:25
MPP の本質と MPP 活用事例

北関東支部
委員長
桒山 一宏

16:25 ～ 16:40
歯科学と経営学の融合がもたらす組織の変革と企業文化

中国支部
株式会社
デンタルタイアップ
河野 佳苗

16:40 ～ 16:55
「妻の医院開業25周年」医院の波乱万丈を経営士として支える

九州支部
かんざき
経営研究所
代表
神﨑　進

16:55 ～ 17:10
台湾支部・海外での MPP 研修の在り方

台湾支部
日本経営士会
台湾支部
支部長
蔡　有義

ヒマワリ 会場 15:50～

15:55 ～ 16:10
中国支部内の女性起業家支援プロジェクト概要

中国支部
ソエルプロジェクト
担当
未来経営オフィス
代表
善木　誠

16:10 ～ 16:25
小さなものづくり企業の営業改革大作戦

中部支部
オフィス・キートス
代表
ものづくりライター
新開 潤子

16:25 ～ 16:40
初めての"縁"作り場所
～お互いのファンになる為に～

近畿支部
クロッシング
AMCJ
株式会社
エヌケーバリューアクト
代表取締役社長
中里 皓一

16:40 ～ 16:55
女性という枠を超える新たな活動へ

北関東支部
NJK
女性経営士の会
会長
株式会社 鶴と学び
代表取締役
吉村 千鶴子

16:55 ～ 17:10
地方の経営士から始まる新しい流れ

四国支部
株式会社
ビットコミュニケーションズ
代表取締役
川西 健雄

コスモス Ⅰ 会場 15:50～

15:55 ～ 16:10
介護業界における DX の現状と今後の可能性

中国支部
株式会社 Forest
代表取締役社長
一般社団法人
日本ネクストパーソン
支援育成協会
代表理事
森角 公至

16:10 ～ 16:25
経営者勉強会との連携により日本を元気にする

南関東支部
小宮山 千恵子

16:25 ～ 16:40
伴走型コンサルのノウハウを支援する「一木会」
～コンサル実践知を会の提供価値として～

東京支部
株式会社
サイエス
代表取締役
一木会
会長
福島　光伸

16:40 ～ 16:55
未来予測が難しい時代の「思考プロセス・行動様式」
～エフェクチュエーションとは～

東京支部
株式会社
R&Hシステムズ
代表取締役
戸田 裕之

16:55 ～ 17:10
日本経営士会の組織構造とその主な活動

南関東支部
日本経営士会
専務理事
近藤 安弘

2日間を通して上記発表の他、およそ100名からの報告が予定されています。

10/15(日)

9:00 9:30 10:00 10:30 11:00 11:30 12:00	13:00 13:30 14:00 14:30 15:00 15:30
第3部	第4部
日本経営士会 サスティナブル・マネジメント・センター構想 鈴木会長・各委員会	特別講演Ⅱ 衆議院議員・(株)経営共創基盤 共同経営者 小林史明様・沼田俊介様
歯科医院変革フォーラム 働き方改革から働きがい改革へ　医療機関からの提言	特別講演Ⅲ 広島大学病院副病院長 大毛宏喜 教授
特別講演Ⅳ 株式会社 大創産業 創業者(ファウンダー) 矢野博丈様	座談会 井上善海様 大毛宏喜様 矢野博丈様 鈴木和男
閉会	
パネル発表・展示 / 紹介ブース / フォトコンテスト表彰	

10/15 歯科医院変革フォーラム 働き方改革から働きがい改革へ
コロナ禍においても過去最高の患者を受け入れた歯科医院の仕組みと志

ダリアⅠ会場 9:00～

9:00～9:15
移転構想も視野に唯一診療時間を伸ばす取組

医療法人 純康会 徳地歯科医院 (京都府) 理事長 徳地 正純

9:15～9:30
第2ステップでの移転ユニット7台体制へ

pmj木町通デンタルクリニック (宮城県) 院長 楠本 雅子

9:30～9:45
地に足のついた経営

ルミエールデンタルクリニック (宮城県) 院長 甲田 恭子

9:45～10:00
変革で夢を実現! 女性だけのクリニックの挑戦

医療法人 すみれ おおくぼ歯科クリニック (京都府) 院長 大久保 恵子

10:00～10:15
地道なカイゼンを繰り返す歯科医療体制

医療法人 しらい歯科クリニック (香川県) 院長 白井 彰人

10:15～10:30
効率的な診療でのチームのまとめ方

医療法人社団 小野歯科医院 (兵庫県) 院長 小野 圭三

10:30～10:45
基本に忠実な5sで確実な成長を遂げる

たかお歯科 (大阪府) 院長 髙尾 賢太郎

10:45～11:00
歴史ある歯科医院での挑戦

医療法人社団 つくも会 藤岡歯科医院 (広島県) 院長 中條 隆徳

11:00～11:15
チームワークで夢を実現した移転

医療法人 恒生堂 とみもと歯科医院 (大阪府) 院長 冨本 昌之

11:15～11:30
継承のあとの団結向上し続ける組織文化

医療法人 こころ 渡辺歯科医院 (福岡県) 院長 渡辺　肇

ダリアⅡ会場 9:00～

11:30～11:45
さらなる上を目指す組織へ(組織の変化と新しい取り組み)

医療法人 きりの歯科クリニック (徳島県) 院長 桐野 晃教

11:45～12:00
王道 無理のない安定した医療提供

佐伯歯科医院 (兵庫県) 院長 佐伯 光規

9:00～9:15
変革1年目5Sへの投資 技工室増床によって得られた効率化

医療法人 誠蓮会 いずも歯科クリニック (島根県) 院長 難波 照啓

9:15～9:30
3代目での医院変革、継承への準備

医療法人 上人豊田歯科 (大分県) 院長 豊田 隆雄

9:30～9:45
家族の絆を超える、信頼の組織を目指して

医療法人社団 スマイルパーク スマイルパーク歯科 (兵庫県) 院長 橋本 玄徳

9:45～10:00
分院展開からの仕組み逆輸入

医療法人社団 慎雅 いとう歯科クリニック (千葉県) 理事長 伊藤　慎

10:00～10:15
分院展開の良い所と躓くポイント

医療法人 4U (福岡県) 理事長 伊藤　剛

10:15～10:30
抜群の5Sが繋げる更なるチャレンジ

青木歯科クリニック (東京都) 院長 青木 陽一

10:30～10:45
100年企業の歴史 歯科衛生士が増え続けるその魅力

医療法人 大町歯科医院 (島根県) 院長 大町 健介

10:45～11:00
M&Aにおける分院展開

医療法人 医信会 (大阪府) 理事長 森脇 信吉

11:00～11:15
最短の診療時間でも尚 業績が上がり続ける組織とは

医療法人 T&K 坂井おとなこども歯科 (宮城県) 院長 坂井 清隆

11:15～11:30
多職種の専門性で充実した医療提供体制をチャレンジ

医療法人社団 やまだ歯科 (兵庫県) 院長 山田 隆之

11:30～11:45
継続から生まれる新たな体制づくり

医療法人社団 はらみず歯科クリニック (兵庫県) 院長 原水 祐文

11:45～12:00
積み重ねる組織の安定感

松林歯科 (大阪府) 院長 松林 慈人

12:00～12:15
持続可能な採用と離職者0の職場作り

医療法人社団 わく歯科医院 (兵庫県) 理事長 和久 雅彦

※掲載情報は5月末日時点のもので、内容は一部変更になる可能性があります。

大会会場

広島国際会議場
広島県広島市中区中島町1-5（平和記念公園内）

懇親会会場

ANA クラウンプラザホテル広島
広島県広島市中区中町7-20 TEL082-241-1111

申し込み方法

QR コードからお願い致します。

上記の申し込みが難しい場合は、下記の申し込み書にご記入の上、FAX にてお願い致します。FAX 03-3239-1831

名　前 （参加代表者名）	フリガナ	□ 経営士会員 （会員番号　　・所属支部　　） □ 一般
所属企業・団体名		
連絡先	電話番号	E-mail
申し込み人数	人	全国研への参加回数（　　）回 ※今大会を含む
参加費 （該当番号に○）	会員：① 23,000円（全日・懇親会出席/人） 一般：① 全日・懇親会出席（23,000円/人）　② 全日・懇親会欠（11,000円/人） ③ 第1部・第2部・懇親会欠（5,500円/人）　④ 第3部・第4部・懇親会欠（5,500円/人） ⑤ 一般参加　第4部（1,000円/人）のみ　⑥ 学生 第1部～第4部（無料）	
宿泊の必要な方 （該当番号に○）	1室あたり料金（朝食付き） ANAクラウンプラザホテル広島：①シングル 33,300円　②ツイン 39,270円 コンフォートホテル広島大手町：③シングル 12,700円　④ツイン 24,000円	
代表者以外の参加者氏名		
通信欄	※会員で宿泊先の手配・エキスカーション参加を希望する方はこちらに記載下さい。	

主催 / 一般社団法人日本経営士会
併催 / 歯科医院変革フォーラム実行委員会

お問い合わせ

一般社団法人 日本経営士会 事務局
TEL 03-3239-0691 FAX 03-3239-1831
E-mail:office@nihonkeieishikai.com
https://chugokukeiei.com/

歯科医院変革フォーラム
株式会社 デンタルタイアップ
TEL 082-294-1845 FAX 082-294-1846
E-mail:office@dental-tie-up.net

支部活動報告

北関東支部新潟県会　第38回公開MPP

北関東支部　新潟県会

北関東支部新潟県会　粉川 雅人

新潟県会　第38回　公開MPP

日　時	2023年7月15日（土）　13：30 ～ 16：30（3時間）	
会　場	長岡市　まちなかキャンパス長岡　交流ルーム	
出席者	新潟県会	磯部県会長、渡辺副会長、木村副会長、西山副会長、粉川会員、鈴木会員、栗山支部長
	東京支部	日野会員
	一般参加者	渡辺勝也氏、加藤誠氏
	学生参加者	中嶋一登氏

第38回公開MPPを会員参加者8名、一般参加者3名で長岡市まちなかキャンパス長岡で開催しました。ケースは新潟県会MPPケース研究会のトライアルケース「広告業・株式会社DDDDの経営課題」を用い、Aチームは6名、リーダー木村会員、レコーダー西山会員、Bチームは5名、リーダー鈴木会員、レコーダー渡辺勝也氏で討議を行いました。

ケース概要は「創業64年の看板業から始まった広告会社では客先理解を基本とした顧客満足度重視のリピート受注と従業員が長く勤められるような育成環境を重視して会社経営を行ってきた。経営者交代や時代変化によるニーズ多様化、社員高齢化など今後の経営方針について改めて考える時期となった」という状況で設問としては「経営課題の特定、解決の戦略、戦術について」経営士チームに助言を求めている設定です。Aチームは受注や市場性から直近の売上、利益は確保されているという前提で現事業での課題、解決策を討議し現業の利益率分析から販売戦略の見直し、それに伴う組織、人の再配分という視点で整理しました。Bチームはこれとは対照的に現業での売り上げ額、利益率が悪化傾向にあるため将来の業態変更も視野に入れて経営改革を課題と設定し、新規ビジネス展開を目指すための人材戦略と事業戦略について討議を進めました。終了後の発表では討議の前提条件が異なっていたこともあり白熱した質疑応答が行われました。最後に新潟県会MPPケース研究会の渡辺会員から本ケースの解説が行われました。MPP終了後は会場を移し、会員、一般参加者との情報交換と懇親を深めた有意義な一日となりました。

（Aチーム 西山会員発表風景）

（Bチーム 渡辺勝也氏発表風景）

（渡辺会員による解説風景）

支部活動報告

2023年度第1回　茨城県会公開MPP　開催結果

北関東支部　茨城県会

当会会員の皆様、当会の宝であるMPPを大切にしたく何度も何度もお伝えします。

2022年度第2回公開MPPを開催して以来、5か月ぶりのリアルによる開催です。

コロナ禍後の慎重な対応をしながら開催、参加の皆様健康面の異常発生はなかった様子安堵しています。MPPはリアルによる開催が意思疎通を図れ、リーダーやレコーダーに過重とも言える負担が掛からないと推測、慎重を期しながら継続的に開催したいと考えています。次回開催＝慎重な対応が必要だが、北関東支部として11/18、19の予定。

この結果報告については、批判的にお読みいただきたいが、批判に終始するのではなく、肯定できる点については、参考にしていただきたい。それがMPPの真髄と考えます。

会員歴少の皆様、MPPの神髄を理解して「広く深い思考力向上」にご活用願います。

当会では「MPP」を商標登録して、他団体等から類似品出現を防止しており、私達が商標を大切にして、商標の積極活用を図るのが責務と考えます。皆様如何お考えですか？

当県会では公開MPPを年間4回開催、MPPへの魅力付加のため、県外や賛助会員、次に会員外を招き、複数チームでの開催を心掛けていたが、コロナ禍で予定できず、辛抱強く回復を待っています。今回は計7名にご参加いただきありがとうございます。

今回は1チーム編成となり、少数会員の当県会、参加者に感謝です。継続は宝です。

MPPは、経営士能力開発講座→経営能力開発講座（士を削除）→MPP（商標を取得）と変遷した経緯があり、根底にあるのは思考力の養成、その内容は大～零細の企業・産業研究であり、広く組織研究と言えます。皆様如何お考えですか？　皆様、再確認願います。

1. 開催日：2023年7月29日（土）
   13：30 ～ 17：00（製造業に関する基礎的な事前の情報提供的説明等15分間）
   17：30 ～　　（懇親会での会員外含む参加者と情報交換＝コロナ禍後初）
2. 参加者：1チーム、計7名（県内4名・県外3名＝県外や会員外が大切）
3. 開催場所：ひたちなか市　ひたちなか商工会議所
4. 使用ケースコード：31-029-196
5. ケーステーマ（題名）：金型メーカーの将来（製造業の1典型例：永続性ありと推測）
6. 終了後検討会：補足説明的15分間（金型は製商品の生命決定の重要要素と認識）
7. ケース選定の経緯：MPPを継続開催すると、採用ケース探しに苦労する。
   時間経過だがCD登録ケースから選定、必要によりトライアルケース活用を目指す。
   お世話係としては、過去と同一ケース採用は避けたいのが本心である。
8. チーム編成と会員外（今回は1名）参加者について：
   1）計7名で1チーム編成、終了後検討会開催が大切、活発な意見交換できたと判断。
   6名／チーム　では多過ぎ、4 ～ 5名／チーム　は活発な討議になる。
   今回の7名／チームは過剰と判断。次回は8名以上で2チームを目指したい・・・。
   活発な討議結果を示す克明に記載の2面のボード（写真）を示せず残念。
   当県会ではリーダー体験者を増加、MPPの会員外への普及に寄与したい。

2）終了後、通常懇親の場を設け、情報交換や対話不足を補い相互理解を深めている。
今回は代表的テーマ、現実的な対話や感想に及ぶので、情報交換は有意義であり、開催でき幸い。コロナ禍後を配慮しながら開催、今後平常に戻ることを期待する。

9. 参加者の分析や感想等：

1）MPP会員外体験者の感想も、通常の事例研究に比べケースの詳細を経歴、体験の違う方々が様々な視野、視点から検討でき、MPPが優れている旨の指摘である。
参加者の多種多様な考え方を0ベースで生かせるのは、MPPの優れた点であろうとの指摘でもある。MPPを批判してもよいが先ずは体験して理解して欲しい。

2）長年の製造業経験者が居り、金型業界の歴史的経緯を解説いただけたのは、参加者の思考の助けになった様子。先入観を入れるのは不適切とも言えるが、金型製造業の広範な歴史を知らずに検討するより、適切な検討、論議ができたと推定する。
金型は製造業の基本、金型産業継続の困難さと歴史を知っておくことは大切である。

3）本ケースでは時代背景や経営環境をよく分析する必要があると示唆している。
金属や樹脂用金型等あり、1～百程度の多数個取り金型もあり、興味は尽きない。
経営面は当然、職人芸的ノウハウまで参加者の知的好奇心を満たせたと判断する。

4）海外の企業、特にASEAN等にも注意の目を向けておきたい。
金型産業まで海外に出してよいか？ノウハウの塊であり国内定着の努力をしたい。

5）ホームページに設備能力を記載するのは受注するための表示である。発注先はそれにより発注の可能性等を判断している。経営士として専門外の知識を確立したい。

6）企業間比較するときは、地元、県内、日本、国外等にも目を向ける必要があろう。

7）我々は日本企業に目が向きがちだが、グローバルな視野・視点も大切だろう。

8）今回のような基幹になるケースやトライアルケースの作成につき、会員の力を発揮して欲しい。まずは会員皆様の経験を一般化してケース作成を期待する。

9）今回も記載だが、1チームであっても、多支部に及ぶと、各支部の特徴が出てよい。
MPPにも県民性的な要素があり、各県会に呼び掛けて、多くの参加者に集まってもらう工夫が必要と思う。参加者の多様性確保ということ。次回もそれを期待。
参加会員の皆様のご理解、ご協力により、密度の濃いMPPになり感謝します。

よき伝統が今後も引き続くことを信じています。

（茨城県会　MPP　写真提供担当不参加、お世話係　塚本 裕宥）

通例の写真欄を活用して北関東支部主催　茨城県会主管　公開MPPの予告

期日：2023年11月18日（土）13：30～19日（日）13：00

会場：ひたちなか市（最寄駅：勝田駅）　ひたちなか商工会議所

同時開催予定：MPPリーダー更新研修

詳細は別途発行予定の正式ご案内で提示

千葉支部活動報告

千葉支部

6月、7月の千葉支部の幹事会・運営委員会は、引き続きハイブリット方式により開催しました。今年度3Cの会の9月までの開催概要や、第59期経営士養成講座に向けた打合せ等を行い、スタッフ会議を全5回開催致しました。詳細につきまして、以下の通りご報告致します。

■活動内容

① 6月幹事会・運営委員会

開催日時：2023年6月24日（土）13:30～17:00　海神公民館 第1集会室（Zoom併用）

【第一部】「幹事会・運営委員会」
（1）理事会・SMCリーダー会・PJ-Cの企画会議内容報告
（2）千葉県経営者協会のセミナーに向けた事前検討

【第二部】「3Cの会運営会議」
（1）全国研のPR（Zoom10分）：中国支部 井上　隆様
（2）3Cの会運営方針検討
（3）ITスキルアップ勉強会

② 7月幹事会・運営委員会・3Cの会

開催日時：2023年7月29日（土）13:00～17:00　船橋中央公民館 第6・7、第8集会室（Zoom併用）

【第一部】「幹事会・運営委員会」
（1）理事会の内容報告。
（2）全国研広島大会「依頼事項」対応の検討、千葉支部からの参加者の確認。
（3）第59期経営士養成講座準備（第5回スタッフ会議）。
・講座カリキュラム・講師決定状況の確認、スタッフメンバーの役割分担の確認、実習先の選定と実習段取りの検討

（幹事会・運営委員会の様子）

（3Cの会の様子）

【第二部】「3Cの会」
テーマ：『ビジネススキルアップ講座「スマート仕事術」－ChatGPTのビジネス活用法－』
講　師：千葉支部副支部長　鈴木伸一氏

講師から、ChatGPTをはじめとする生成系AIの歴史とその動きを、理解するための用語や仕組み、AIが今後社会に与える影響について説明して頂き、積極活用するための基本的なプロンプトの書き方なども参加会員で学んだ。
・できること・得意なこと⇒文章作成や対話能力、クリエイティブな生成能力は得意。算数が苦手。最新の知識、2000年より前の知識は弱い。専門知識は持っていない。倫理観はない。
・問題点や危険性⇒嘘や不正確情報、ヘイトなどを学習してしまう。学習過程はブラックボックス。知的財産権侵害の可能性。セキュリティリスクを内在する。

生成系AIは文章だけでなく、画像、映像、音楽でも急速進化中。ビジネスツールとして早期に積極活用しよう。

③ 第59期経営士養成講座スタッフ会議

第1回　6/28（水）20:00～22:00　Zoom　　第2回　7/2（日）10:00～12:00　Zoom
第3回　7/5（水）20:00～22:00　Zoom　　第4回　7/19（水）20:00～22:00　Zoom
第5回　7/29（土）13:00～15:00　定例会議にて（ハイブリット形式）

以上

（写真提供：金子 昌夫幹事、記：須藤 英幸）

埼玉支部活動報告

埼玉支部

今年度は、埼玉支部を根本から立て直すことが主たるテーマです。

ここ数年、支部主催の研究活動などが行われておらず、セミナーを企画しても会員が数名しか参加しないという状況が続いています。

そこで6月に、有志によるプロジェクトを立ち上げました。収益事業や研究活動など、会員の満足度を高める活動を企画し、取り組んでいこうとしています。

支部間交流会などもできればと思います。全国の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

【活動報告】

活　動	日　時	実施概要
6月幹事会 Zoom開催	6月14日（水） 19:30～21:30	・各自のキャリアの確認 ・収益事業化に向けてのプロジェクト発足決定 ・HP修正に向けての検討開始
収益事業化 プロジェクト会議 Zoom開催	6月24日（土） 7月16日（日） 19:00～21:00	・支援メニュー候補の洗い出し ・会員データベースの整理 ・支援基本方針の検討
7月幹事会 Zoom開催	7月23日（日） 臨時：8月1日（火） 19:30～21:00	・全国研への参加について ・定例会開催について ・経営支援センター構想について

【今後の課題】

おもに、以下のようなことに取り組んでいきます。

◆　経営支援機関として求められる機能を網羅的に提供する仕組みをつくる。

◆　ニーズの高い支援テーマについてノウハウを蓄積、共有する。

◆　上記の内容を研究活動や月例会に盛り込み、形にしていく。

◆　HP、SNS等での情報発信力を高める。

◆　地元でのネットワークづくりを心がける。

以上

（広報担当幹事 楠本 隆志）

支部活動報告

中部支部最近の活動報告

中部支部

◆経営研究会

テーマ：「日本経済の現状と現代貨幣理論について」

講　師：近藤守邦

開催日：2023年6月10日（土）

開催場所：タワーラウンジカシメ

「世界経済が拡大するなか、日本は世界で唯一の経済縮小国家となった。」と講師は言う。

事実、1995年当時、日本のGDPは米国の70％近くあったのだが、2010年には同じアジア圏の中国に抜かれ、現在ではその中国の3分の1、さらには米国の4分の1以下にまで落ち込んでしまった。

これを世界のGDP構成で比較してみると、1980年には米国28.0％、EU25.0％、日本15.5％と日欧米で68.6％を占めていたのだが、2020年では米国24.5％、EU18.0％、日本5.9％と日欧米の構成比合計は48.3％にまで減少した。一方、中国は17.4％へと拡大し、アジア経済圏の覇権国家となったと言える。

では、日本の国内経済はどのような現状にあるのだろうか。国内企業のうち資本金10億円以上5,026社の現状（2018年）を、1997年を100とした各項目の比較で表してみると、売上高107％、経常利益319％、配当金620％、役員報酬132％、従業員給与96％、設備投資96％であった。つまり、企業と経済（GDP）の成長ドライバーである従業員給与と設備投資が縮小しているのである。

正月に豪州を旅行した人が、豪州のアルバイト時給が2,500円であることに驚き、直近の米国の平均時給が約4,600円であるという報道に再度驚いたという笑い話にもならない話が伝えられている。

過去30年の日本経済のデフレの原因は、緊縮財政と消費税増税であると言われているが、そのデフレ下での増税は、国民生活をますます困窮化する政策です。銀行の貸付金の原資は預金ではなく借用書であり、国家の資金の原資は、税金ではなく国債であるという信用創造の理解が必要である。

世界はポスト・グローバルへと動き出しました。コロナ禍、ウクライナ戦争、米中冷戦、台湾問題などなど・・・。日本も国民を守る安全保障（防衛・エネルギー・食料・インフラ）の強化と、国家レベルでの中長期的産業政策の強力な推進が必要な時期にあるのではないでしょうか。

◆第9回環境経営士フォローアップ研修会

開催日：2023年7月15日（土）

開催場所：ウィンクあいち

参加者：10名

（三品支部長挨拶）

今回の環境経営士フォローアップ研修は、SDGsに関する取組事例の紹介、及びケーススタディ（ロープレ）によるコンサルティングスキルアップを目的として実施した。

＜研修概要＞

Part1：日進市が主催している「530（ごみゼロ）運動」や「わいわいフェスティバル（SDGs）」の取組みにつき、その具体的な活動内容が紹介された。
続いて、（株）タンガロイ社の環境報告書をベースに、企業におけるSDGs事例等を紹介し、企業の本業とSDGsとの結びつきなどにつき理解を深めた。

Part2：午後からの研修は、コンサルスキルアップのためのケーススタディ（ロープレ）研修を行った。SDGsをテーマに「街のパン屋さんにアプローチする」という設定で、どのようにコンサルするかという内容です。研修参加者を3つのグループに分け、それぞれの役割分担を変えて3回実施した。

＜参加者の意見（研修後レポートより）＞

★よく理解できた意見

地域イベントでは、様々なアプローチで取り組まれていること、具体的な活動が理解できた。530運動の効果として、街を綺麗にするだけではなく、拾わないごみが増えるとどうなってしまうのだろうかという気持ちが芽生え、それがごみ削減の意識の醸成に繋がることが理解できた。日常的にSDGsを意識し、いつでも話せるように、自分自身の引き出しを作っておく必要性を確認することができた。

★理解ができなかった意見

研修課題は、専門性の高い商品に関する設定であったため、もう少し詳しい商品説明があると良かった。ロープレの設定がやや唐突的で、少し現実離れしていると感じた。

★実践に使えるネタの意見

環境調和製品の紹介事例、バナナペーパー活用事例、ロープレはかなり高負荷な練習になりました。繰り返し練習すれば、実践に役立つと感じました。

※参加者の自己総合評価は平均78.9点の評価でした。

（記　経営士・環境経営士　林 広高）

（各グループのロープレ練習会の状況）

産業能率大学　寄付講座実施報告

今年度の産業能率大学寄付講座は、昨年度に続き「実務家が教える中小企業経営」をテーマに、8月12日（土）、13日（日）に受講生29名（2名欠席）で、完全リアル授業で実施されました。

前日まで台風7号の進路が定まらず、産業能率大学事務局より当日の午前7時までに受講の有無の決定をする旨のメールが入り、講師側の本会も課題レポートの用意、連絡等におわれましたが、関東地方から台風がそれ予定通りの講義が出来ました。（台風の進路にあたった地方の皆様には深くお見舞い申し上げます）

第一日目は佐藤元副会長（産業能率大学OB会会長）の挨拶から始まり、特に午後からのMPPでは活発な討議が行われ、通信教育で普段顔を合わせない受講生たちの距離感が一気に縮まりました。テレワーク時代と言われますが、やはり人間同士の体温、息遣いを感じながらの共同研究は意義のあるものだったのではないでしょうか。（LINEグループを作ったチームもあるようです）。一日目最後のGFCサービス鈴木飛雄馬社長の講話では現職の企業家の本音に感銘を受けていました。

2日目は、坂本充講師、大宮政男講師、竹俣大介講師、定野淳講師、石原群司講師、小笠原隆夫講師がそれぞれの実務経験を基に丁寧な講義を行いトラブルも全くなく盛況のうちに2日間の寄付講座を終えることが出来ました。

経営士会への関心も高まり、約8割の受講生が入会資料の申込書を提出しています。また、SDGs経営士も入会希望者が多く見られました。夏期休暇の最中に遠方より集まって来る受講生のためにも今後もより意義のある講座にするため、産業能率大学事務局と内容を詰め行きます。ご協力をいただきました皆様に感謝いたします。ありがとうございました。

（受講風景）

（真剣に取り組む〈MPP〉）

（挨拶をする佐藤先生）

インフォメーション

行事・講座・セミナーのご案内

行事･研修･セミナー	日　時	開催場所	詳　細	申込方法等
SDGs経営士養成講座	10月7日(土)・21日(土)・28日(土)・29日(日) 10:00～17:00	ZOOM 配信	35,000円～ 55,000円 資格により受講日数が異なります	会員の受講料は異なります
第79回環境経営士養成講座 (ベーシック)	11月11日(土) 10:00～17:30	ZOOM 配信	受講料 15,000円	——
第79回環境経営士養成講座 (アドバンスト)	11月18日(土)・19日(日) 10:00～17:30	ZOOM 配信	受講料 30,000円	ベーシックコース 受講者27,000円
経営支援アドバイザー 養成講座	11月11日(土)・ 12日(日)・18日(土) 9:00～17:00	ZOOM 配信	受講料 33,000円	リカレント受講 5,500円
AMCJクロッシング	10月8日(日) 10:00～12:00	ZOOM 配信	テーマ未定	——
AMCJクロッシング	12月9日(土) 13:00～17:00	四谷三丁目	——	終了後 懇親会あり
MPP (茨城県会)	11月18日(土) 13:30～ 11月19日(日) 13:00～	ひたちなか 商工会議所	——	——

日本経営士会
LINE公式で最新情報を！
登録募集中

＊下記のQRコードをスキャンしてください＊

@890bugal

LINEの「友だち追加」から、ID検索するか
QRコードをスキャンしてください

LINE

Management Consultant

経営に知恵と革新 Intelligence and Innovation in Management